さつきだより

●株式会社アミックビジネスコンサルティング
●税理士法人アミック＆パートナーズ
●社会保険労務士法人アミック人事サポート
●株式会社アミック総研
●アミック行政書士事務所
〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町928-1　TEL:028-908-4411　FAX:028-645-1000

『温故知新』

私が社会人としてこの業界に入った時は、算盤と電卓を持参して入社したものだ。今はパソコンが各人に普及し算盤を使っている人は皆無だ。電話もビジネスホンの初期のころでそれぞれの机に電話もあった。携帯電話を会社から一人一台支給されるなど考えも及ばなかった。また、物騒な強盗事件も世間を騒がせている。オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺事件だ。以前より警戒されるようになったことで、犯罪集団の企みが暴力的な強盗へと変化している。我が国が誇ってきた「治安の良い国」というイメージが揺らいでいる。

変化の渦中では気にもならないが、いつの間にか環境が激変した。五十年や百年でなくほんの四半世紀で世の中は大きく変わった。その上変化の速度は日ごとに増していく。「温故知新」は大切だが、これだけ環境の変化が激しいと「温故」へのこだわりが弊害になりかねないとさえ感じることがある。高齢化、人口減少、労働力不足等々我が国を取り巻くネガティブな要素は、四半世紀前には予想されていた筈だ。にも拘わらず抜本的な対策が講じられないまま年月だけが経過してしまった。つまり「知新」を怠ったのが要因だと思う。

最近になって少子化対策が大きく議論されている。特殊詐欺事件も同様だ。ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮の核実験など外部環境も随分変わっている。税金の使い道にも変化が必要だ。警察や消防などによる治安の維持を図り、安全な暮らしを守るのも税の使途として重要だ。少子化対策や防衛費の増額など取り巻く環境の変化は待ってくれない。人生百年時代と言われ高齢者の増加と共に医療費も増加傾向だ。その上労働者人口の減少に対応し国の生産性も改善しなくてはならない。今度こそ「知新」を怠ることなく、速やかに実行すべきであると思う。

税理士法人 アミック＆パートナーズ　　代表社員

「私のおすすめ」

「家計の断捨離」

「断捨離」という言葉が浸透して久しいと思いますが、「断」＝入ってくる不要な物を断つ、「捨」＝周りにある不要な物を捨てる、「離」＝物への執着から離れるという、ヨガや仏教思想の考え方をやましたひでこさんが端的に表した造語だそうです。

家計の断捨離ということで不要な支出を断つ際のおすすめとしては「通信費の見直し」です。

月1万円かかっている通信費を3千円に見直したとすると、年間で8万4千円、10年で84万円、30年でなんと252万円の節約につながります。この浮いたお金を好きなことに使ってみてはいかがでしょうか。

（文：矢島）

当社サイトでは税制改正や各種セミナー情報、職員ブログ等の様々なコンテンツを取りそろえております。
https://www.amic-amg.co.jpもしくは、右QRコードより是非ご覧ください！！

6月号